

2016年（平成28年）度 第2回理事会議事録

日時：平成28年3月27日（日）15:00～16:50

場所：ビッグパレットふくしま・小会議室1

出席者 藤本豊士(理事長)、岡部繁男、寺田純雄、仲嶋一範、渡辺雅彦（以上常務理事）、青山裕彦、木山博資、佐藤 真、篠田 晃、柴田俊一、島田昌一、千田隆夫、松村讓兒、中村桂一郎、西 真弓、野田泰子、藤倉義久、八木沼洋行（以上理事）、寺島俊雄（監事）、阪上洋行、松崎利行(以上常任幹事)、片桐 淳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者 萩原正敏（理事）、牛木辰男（監事）

I. 理事長および第121回総会・全国学術集會会頭 挨拶

理事長および第121回総会・全国学術集會会頭から挨拶があった。

II. 議事録署名人の確認

定款第39条の規定により、寺島監事を議事録署名人として選出した。

III. 会議記録の確認

- (1) 2015年（平成27年）度第6回理事会（平成27年12月5日開催）議事録（案）
 - (2) 2015年（平成27年）度第7回理事会（平成27年12月17-24日開催）議事録（案）
 - (3) 2016年（平成28年）度第1回理事会（平成28年2月17-18日開催）議事録（案）
- 上記3件につき、議事録（案）を確認した。

IV. 報告事項

1. 庶務報告

- (1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）
資料に基づき、年会費納入状況について報告がされた。4年未納者は第121回日本解剖学会総会・全国学術集會の会期中に納入がない限り、除名となることが報告された。
- (2) 持ち回り理事会結果について
資料に基づき、平成28年度第1回理事会（e-mail会議）の審議結果が報告された。
- (3) 教授就任による代議員について
資料に基づき、教授就任による代議員申請について紹介があり、常務理事会において審議の結果以下の2名について承認されたことが報告された
城戸瑞徳先生 佐賀大学医学部 生体構造機能学講座 組織・神経解剖分野
勝山裕先生 滋賀医科大学医学部医学科 解剖学講座 神経形態学
- (4) 男女共同参画学協会連絡会報告
資料に基づき、平成27年12月15日に開催された、第14期男女共同参画学協会連絡会 第1回運営委員会（解剖学会からは男女共同参画委員長の今城純子先生（防衛医科大学）が出席）の議事録について報告された。
- (5) その他
特になし。

2. 編集報告

特になし。

3. 企画・渉外報告

- (1) 第121回日本解剖学会総会・全国学術集會の準備状況報告
資料に基づき、第121回日本解剖学会総会・全国学術集會の準備状況が報告された。
- (2) 第122回日本解剖学会総会・全国学術集會の準備状況報告
資料に基づき、第122回日本解剖学会総会・全国学術集會の準備状況が報告された。会期は2017年3月28日（火）～30日（木）で、会場は長崎大学坂本キャンパスである。
- (3) 二級技能士審査結果について
資料に基づき、平成28年度二級解剖組織技能士として2名の合格者があったことが報告された。
- (4) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、2015年10月3日に開催された第12回定例会議議事録と、2016年3月5日に開催された第13回定例会議の議事内容が報告された。まず、文部科学省が導入した「卓越研究員制度」について、特に40歳未満の年齢制限は、生命科学系の特にライフイベントのある女性研究者には厳しい面があるため、年齢ではなく学位取得後の年数による制限にすべきであるとの意見などが出

されたことが報告された。この点については、文部科学省に今後要望していく方針であることが紹介された。また、生化学会と分子生物学会が2017年に神戸で合同大会を開催するが、これに他の学会も合流して共催または協賛し、非会員でも会員のように参加できるようにしたいとの連絡が生物科学学会連合にあったことが説明された。平成27年度の決算報告と28年度の予算案についても説明された。次期代表の選出が28年7月15日に公示される予定であることが説明された。また、2020年に第28回国際生物学オリンピックが長崎で開催されるが、その趣意書に生物科学学会連合のメンバーとして各学会の代表者名を記載することと、各学会から2～3問の問題作成についての依頼が近々くることが説明された。

- (5) 日本医学会・日本医学会連合報告
資料に基づき、平成27年度日本医師会予算のうち医学会支出の部について説明があった。なお、医学会連合としての予算はこれとは別であることが補足説明された。
- (6) 次期賞・研究費候補者選考委員会の構成について
資料に基づき、次期賞・研究費候補者選考委員会の構成と、委員長として、互選で松崎利行先生（群馬大学）が選出されたことが報告された。
- (7) 7thAPICAについて
3月にシンガポールで開催された7thAPICAについて報告があった。次回は2018年に韓国の釜山で開催されることに決まったことが報告された。なお、今後は大会ごとに組織を作るだけでなく、APICAとしての常設的な組織を作って活動を行うことが提案され、検討中であることも説明された。
- (8) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 平成28年度中間決算書について
資料に基づき、平成28年度中間決算書（2月次決算書）について説明があった。
- (2) 年会費自動引落制度開始について
資料に基づき、学会年会費自動引落制度の申し込みを開始し、現在30名程度の申し込みがあることが報告された。
- (3) その他
特になし。

5. その他

- ・第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募について
資料に基づき、第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン「学術大型研究計画」の公募について説明があった。「健康社会の創成に向けた多次元脳・生体イメージングセンターの構築」を日本脳科学関連学会連合との共同提案として申請予定であることが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 平成27年度決算および業務監査報告の件
資料に基づき、平成27年度決算および業務監査報告について説明があった。平成27年度決算において、一般正味財産増減額は2,098,624円の増であった。また、監事から適正な運営を確認した旨の監査報告と共に、以下の2点について提言があったことが説明された。①名簿・メダル等、解剖学会が所有する貯蔵品等の在庫管理を厳格化すること、②理事長と常務理事の選出のプロセスを定款に合わせること。①については事務局で対応したことが説明され、②については常務理事会での検討内容が報告された。平成27年度決算については、審議の結果承認された。
2. 平成28年度予算および事業計画の件
資料に基づき、平成28年度予算および事業計画について説明があった。予算について、経常増減額は2,571,000円の増の見込みで計上したことが説明された。審議の結果承認された。事業計画についても説明され、審議の結果承認された。
3. 平成28年度定時社員総会資料と議長の確認
資料に基づき、平成28年度定時社員総会資料と議長について確認された。
4. 日本脳科学関連学会連合代表者推薦について
資料に基づき、日本脳科学関連学会連合代表者として、解剖学会からは岡部繁男先生（東京大学）を推薦することが説明され、審議の結果承認された。

5. 休会制度導入について

資料に基づき、休会制度導入について検討をおこなった。留学中の休会の扱いや、会員歴における休会期間の扱いについてなど、意見が出された。引き続き検討し、12月の理事会を経て、平成29年度定時社員総会に諮る予定で進めることとした。

6. その他

特になし。

★今後の理事会予定

第3回 12月17日（土）14：00～ 場所 東京駅近くの会議室